



安曇野日和

連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

新年度となり、ミサトピア小倉病院は新たに医師をお迎えいたしました。田丸 恒実先生と麻沼和彦先生のお2人です。田丸先生は相澤病院にて総合病院の精神科医としてリエゾン精神医学に取り組まれておりました。麻沼先生は栗田病院に勤められ、当院週末の日当直ですっとお世話になってきた先生です。単にマンパワーとして充実するだけでなく、それぞれの先生に強みがありますので早速にご活躍いただいております。

昨年度は精神保健福祉法の改正があり、長期入院の患者さんが多くを占めている当院においては退院促進に向けた取り組みを充実させる必要に迫られ、退院支援委員会の開催など新たな業務に追われていました。また施設基準においても精神保健指定医の配置に関しては緩和されたものの、医師の通常行う業務に対しては専任病棟以外は2日間に限るという事実上の縛りが課せられたために中々苦勞を強いられてきました。

医師の増員にともなって業務負担を適切に分配し、安全に配慮してより良い精神科医療を提供できるようになりました。特に田丸先生は保険診療や医療監査における豊富な知識をお持ちであるため、色々ご指導いただきながら我々がステップアップしていくチャンスと考えています。新たな風を感じながら病院全体として前進していきましょう。

表紙写真

写真タイトル：「 逆さ常念岳 」

撮影者： 樋口 孝

春にしか見ることのできない水田に映る常念岳を撮りました。

お花見特集

ミサトピア小倉病院では、毎年春の恒例行事として、病棟ごとにお花見レクリエーションを開催しています。

今年は、桜の花が開花してから、曇りや雨の日が多く、なかなか晴れ間が出てくれないお天気が続きました。桜が満開のときに、少しでも患者さんに桜の花を満喫していただけるように、各病棟お花見レクとは別に、お天気の良いときに少人数で当院駐車場でのお散歩も楽しんでいました。



また、毎年お花見レクの日には、食事療養部特製のお花見弁当が昼食として提供され、患者さんのご家族や、スタッフも同じお弁当と一緒に食べています。患者さんは、年に1度のお花見弁当をととても喜んでいました。

今号では、1-3病棟と2-3病棟、いずれも精神科開放病棟のお花見レクの様子をお伝えします。

1-3病棟では、4月21日にお花見レクを開催しました。前日の大雨の心配もありましたが、当日は願いが通じ曇り空ではありますが無事にレクを行うことができました。

午前中は、病院の駐車場で満開の桜を眺めながら記念撮影を行ったり、病院周辺を散策して春の草花を眺めたりしながら屋外でのレクを満喫しました。

お花見弁当を食べ、午後は院内でカラオケ大会を行いました。患者さんは十八番を熱唱し、大いに盛り上がっていました。



2-3病棟では、4月22日にお花見を行いました。気候が暖かく開花の時期が早かったのと、連日の雨風の影響で桜が散ってしまうのではないかと心配をしていましたが、無事とても良いお天気の日にお花見を行うことができました。

午前中は、桜の花を見ながら日光浴をし、屋外でお花見弁当の昼食を食べました。

午後は、近くの公園のアグリパークまでお散歩をしました。少し距離がありましたが、何事もなく歩き抜くことができました。アグリパークには吊り橋やターザンロープなどのアスレチックがあり、各々アスレチックに挑戦していました。患者さんは、とてもリフレッシュできたと話されていました。



喫茶ピア小倉

平成27年5月16日（土）に病院行事として『喫茶ピア小倉』を開催しました。今回は、ゼリードリンク（クラッシュしたゼリーが入った炭酸飲料）・くずまんじゅうとお茶のセットの2つのメニューを提供することにしました。



当日までの準備期間に、メニューの試作・試食をしたり、喫茶のポスターを作り掲示したり、お店で使用するコースターをコルクで作ったり、店内の飾り付け用の小物を作ったりと、多くの作業を分担して行いました。そして、数名の患者さんが店員役となり営業をするために、接客の練習に励みました。

当日は、午前中に提供するメニューの準備と、最後の接客の練習を行いました。午後は、時間を決めて各病棟の患者さんが交代で店員役を行いました。店員役の患者さんは、練習の甲斐あってお客さん（患者さん）が来ると、『席へ案内・メニューの説明・注文を聞きメニューを提供・片づけ』の一連の作業をそつなくこなし、70名程のお客さんに来店していただきました。連日暑い日が続いていたこともあり、提供したメニューはどちらも清涼感があり、とても好評でした。



花壇&農場

平成27年4月21日より、今年で2年目になる介護療養病棟の花壇グループの活動が始まりました。週に1度、火曜日に病棟から出て、長靴をはいたり麦わら帽子をかぶったりして身支度を整えてから、屋外での作業に取り組んでいます。

徐々に気温も上がり、暑くなる中での作業ですが、患者さんは根を上げることもなく、笑顔で作業する方や、真剣な眼差しで種を蒔く方など様々な様子が見られています。4月下旬には、満開の菜の花を見ながらパンジーを植え、百日草とコスモスの種を蒔きました。今後は向日葵の種を蒔いていく予定です。



農場グループは4月から活動を開始し、主に第3水曜日の午前中に活動しています。今年は、ハロウィンかぼちゃ・ポップコーン・じゃがいも・さつまいものほかにもプランターでハーブを育てています。屋外の畑へ行き作業ができる全ての患者さんを対象とした活動で、現在20名程の患者さんが活動に取り組んでいます。他病棟の患者さんと一緒に作業をすることもあり、活動中に声を掛けあい、交流を深めています。



今後は、作物の成長や天候にあわせて、水くれや草取りなどの手入れを行いながら、育てていく作物を観察していく予定です。収穫を楽しみにしている患者さんが多く作業にも身が入ります。

エコ活動 グリーンカーテン・電気自動車

ミサトピア小倉病院の介護療養病棟では、昨年夏から夏場の暑さを和らげる活動としてグリーンカーテンを育てています。昨年は、涼を求めて何気なく始めた、グリーンカーテンの活動が院内表彰の菊の日で表彰されました。このことが、病棟に衝撃を与え、今年も継続して育てることにしました。…と説明はここまでにして担当者にインタビューをしてみたいと思います。

Q：グリーンカーテンを始めたきっかけはなんですか？

A：病棟ホールへ差し込む朝日と、日中のグラウンドからの照り返しを和らげるため。患者さん、ご家族に視野的安らぎを感じてもらえればと。

Q：始めて大変だったこと、苦労した点はありますか？

A：周囲への理解と説得・毎日の水やりと管理・暑さとの戦い・終了時の片づけ・業務の傍らで活動するため、なかなか時間が取れないことなど。



Q：取り組んで良かったことはありますか？

A：実績が認められ表彰されたこと。

患者さん、ご家族から「きれいだね」「涼しげだね」と声をかけてもらったこと。

Q：今後の活動について簡単に説明をお願いします。

A：暑さとの漢の戦い。毎日の水やりと管理。

Q：ありがとうございました。

今年も夏に向け暑さが増す中、涼しさを演出してくれるグリーンカーテンに期待が高まります。また、当院では、4月の下旬に7人乗りの電気自動車を導入しました。ガソリンを使わない電気自動車の活躍にも期待しています。



病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 地域への貢献
2. 医療安全・サービスの質の向上
3. 職場の環境づくり
4. 地域連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟150床・老人性認知症患者療養病棟50床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103

長野県安曇野市三郷小倉6086-2

TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

編集後記

すっきりしない天候が毎日続いています。夏になるとあの雪かきが、嘘のように感じます。

先日、安曇野市で初となる5000人を超える規模のハーフマラソンが開催されました。当院、そして当財団からも、走り好きの参加者が数人集まりました。これからも毎年、全国から参加者が大勢来て下さるような大会になって欲しいと願いながら、無事完走することが出来ました。

広報委員長 樋口 孝